

第131期決算のお知らせ

2023年1月1日～2023年12月31日



白洋舎

CLEAN LIVING

人々の清潔で、
快適な生活空間づくりのために、
たゆまぬ技術革新と
感動を与えるサービスを提供し、
社会に貢献します

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、前社長・松本彰の後任として、新たに代表取締役社長に就任いたしました。皆さまのご期待にお応えし、白洋舎グループの一層の発展を果たすべく、微力ながらも全力を尽くしてまいります。何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

2023年12月期における当社グループの業績は、行動制限の緩和に伴う法人取引先の稼働回復や、クリーニング料金改定の効果等に加え、構造改革の進捗に伴う経費の削減等により、売上高は432億7千2百万円、経常利益は21億4千9百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は19億4千5百万円となりました。期末配当につきましては配当予想通り、コロナ禍以前と同等の水準となる1株あたり25円といたしました。

当社グループでは本年より新たな中期経営計画をスタートいたしました。計画の詳細につきましては、裏面およびホームページにてご説明しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

今後は、グループ一丸となって中期経営計画を着実に遂行し、構造改革の完遂と収益性の改善を果たすとともに、引き続きコンプライアンスの徹底やコーポレートガバナンスの強化を図り、ステークホルダーの皆さまのご期待に沿うよう、企業価値の向上に取り組んでまいります。

何卒、株主の皆さまの相変わらぬご支援とご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表取締役社長執行役員

五十嵐 瑛一

2024年3月

セグメント情報

クリーニング事業は、料金改定に伴う増収効果が見られたものの、店舗閉鎖に伴う営業窓口数の減少等から、売上高は179億1百万円（前年比0.4%減）となりましたが、不採算店舗の閉鎖等、構造改革の進捗により、人件費や賃借料等、直営店舗の運営に関わる経費が減少したこと等から、セグメント利益（営業利益）は16億7千3百万円（前年比43.4%増）となりました。

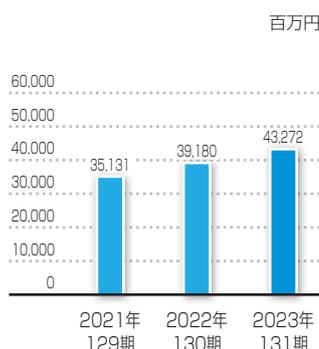
レンタル事業は、行動制限緩和に伴う得意先の稼働回復が見られたほか、光熱費や資材費の高騰等を背景とする経費の上昇を受けて取引価格の改定を進めたこと等から、売上高は243億1千4百万円（前年比19.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は、外注費や集配車両費の上昇はあったものの、18億3千3百万円（前年比79.0%増）となりました。

不動産事業の売上高は4億8千1百万円（前年比0.5%減）、セグメント利益（営業利益）は3億5千6百万円（前年比10.9%減）となりました。

物品販売事業の売上高は5億7千4百万円（前年比32.0%増）、セグメント利益（営業利益）は7千9百万円（前年比46.9%増）となりました。

財務ハイライト（連結）

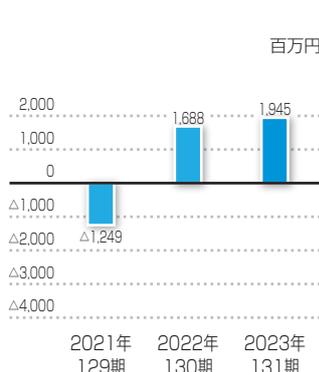
売上高



営業利益／経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



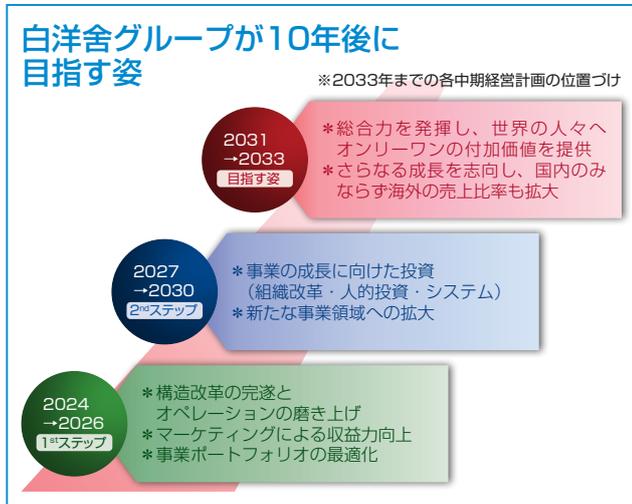
総資産／純資産



新中期経営計画

白洋舎は、2026年を最終年度とする新たな中期経営計画を策定しました。創業120周年を迎える2026年度には、構造改革の完遂と収益性の改善を着実に進め、事業を通じた社会課題の解決と持続的な成長軌道の確立を目指します。

新たなビジョン 「世界の人々の清潔で快適な空間づくりに貢献し、感動を与え続ける企業集団」



経営戦略

- 構造改革の完遂とオペレーションの磨き上げ**
 - クリーニング事業の構造改革の完遂、収益力の高い生産体制の確立、高品質なサービス・付加価値を反映した価格戦略の遂行
- マーケティングによる収益力向上**
 - 市場環境に即した経営資源の選択と集中、サステナブル商材による差別化戦略、付加価値の高い営業による営業力強化
- 事業ポートフォリオの最適化**
 - 経営資源配分の見直しによるクリーニング・リネンサプライ事業の資本収益性の改善

● 2026年度数値目標

連結売上高	……448億円	経常利益	……21.7億円	ROE	……12.0%以上
-------	---------	------	----------	-----	-----------

当社ホームページでは、中期経営計画のより詳細な情報を掲載しております。ぜひご覧ください。 <https://www.hakuyosha.co.jp/plan/>



第131回定時株主総会に関するご報告

報告事項	1. 第131期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
	2. 第131期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）計算書類報告の件 本件は、上記の内容を報告いたしました。
決議事項	第1号議案 剰余金の処分の件 本件は原案どおり承認可決され、第131期期末配当は1株当たり25円と決定いたしました。
	第2号議案 取締役7名選任の件 本件は原案どおり承認可決され、取締役五十嵐瑛一、小林正明、荻野仁、伊藤真次、土井全一、井口泰広、高橋千恵子の7氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、土井全一、井口泰広、高橋千恵子の3氏は社外取締役であります。
	第3号議案 監査役3名選任の件 本件は原案どおり承認可決され、監査役に三橋直樹、小澤陽一、岩本洋の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、小澤陽一、岩本洋の両氏は社外監査役であります。

会社概要

商号	株式会社白洋舎	役員	
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2-11-8 TEL: 03-5732-5111 (代表)	代表取締役社長執行役員	五十嵐 瑛 一
創業	1906年3月14日	代表取締役専務執行役員	小林 正 明
設立	1920年5月 2日	取締役常務執行役員	伊 藤 真 次
資本金	24億1千万円	取締役執行役員	荻 野 仁
主な事業内容	クリーニング事業、レンタル事業、不動産事業、物品販売事業	取締役	土 井 全 一 ※
従業員数	1,329名	取締役	井 口 泰 広 ※
		取締役	高 橋 千 恵 子 ※
		取締役	黒 澤 浩 信 ※
		取締役	三 橋 直 樹 ※
		取締役	小 澤 陽 一 ※
		取締役	岩 本 洋 ※

※印は社外役員

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人特別口座の管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
配当受領株主確定日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日	同 事 務 取 扱 場 所	本店証券代行部
定時株主総会	3月	郵 便 物 送 付 先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
基準日	12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。	電話お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.hakuyosha.co.jp/ir/stock/publicnotice/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		

株主優待制度による寄付のご報告

本年は64名の株主さまに「緑の募金」への寄付をご選択いただきました。株主さまの寄付に当社が同額を加え、「緑の募金」へ寄付をいたしましたので、ご報告申し上げます。寄付をご選択いただきました株主さまに、厚く御礼申し上げます。
寄付金額：94,000円